

攻め貫きフクヒ口撃破

念願女王東京五輪へ弾み

ナガマツ自信



2連覇した世界選手権のいずれの決勝でも対戦したフクヒロペアとの一戦は、いつも以上にファイナルゲームにもつれ込む接戦となった。

初の全日本総合決勝の舞台に硬くなった第1ゲーム。少し浮き足立った(永原)と、7連続失点するなど3-11に。流れは変わらぬが、技群のレシーブ力を誇るフクヒロの守備を崩せなかった。ラリー中に繰り出す相手のカットやクリアスマッシュなど多彩で巧みな攻撃にも翻弄(ほんろう)され受け身になった。永原と松本のラケットがぶつかる場面が何度も見られ、得意な形が全く出せず、4連続でポイントを決めてしまった。反撃の糸口を見つけたのも難しいように見えた。

第2ゲーム前に永原が考えたのは、満員の観客の期待に応えることだった。これだけ多くの方が会場に足を運んでくれて。面白い試合を見たいと思っている。自分たちのプレーが出せずに負けてしまうと申し訳ない。自ら仕掛けて攻撃するナガマツスタイルを貫く。原点に戻してやり

世界で磨いた力強さと我慢

闘志に火が付いた。2人もブレイクスピードが上がり、力強い攻撃を武器に8連続得点で12-8に。息の詰まるような長いラリーでもミスが減り、甘い返球も少ない。松本は相手の位置を見ながら、単純なプレーにならないように意識した。我慢強く攻めることで自分たちの力が発揮できると振り返った。

ファイナルゲームではさらに勢いが加速した。2-1から11連続ポイント。長身から繰り出す角度の付いたスマッシュに、コースと深さを間違わないレシーブ。"点差を考えずに一つずつ積み重ねていく"(永原)と心の隙も見せずに71分間の熱戦を戦い抜いた。

準決勝で世界4位の高橋礼華・松友美佐紀組(日本ユニシス)、決勝のフクヒロとライバルを破った日本一。11日からはワールドツアーファイナルズ(中国)が控え、年明けから4月まで日本代表の2枠をめぐるオリンピックレースの後半戦となる。松本は「優勝は自信になった。この経験を今後の世界での大会につなげたい」と力を込めた。

【東京】東京の駒沢オリンピック公園総合運動場体育館で1日に行われたバドミントンの第73回全日本総合選手権大会(日本バドミントン協会主催)女子ダブルス決勝で、世界ランキング3位の芽室町出身の永原和可那(北都銀行)・青森山田高(芽室中出身)・松本麻佑(北都銀行、札幌出身)組が強い精神力と高い技術で姿勢から挽回して逆転し、2-1(10-21、21-15、21-8)で制して初優勝を挙げた。 来年の東京五輪日本代表の座を争っている同ランキング2位の福島由紀・廣田彩花組(アメリカンバドミントン)に圧倒された第1ゲームから念願の逆転劇。2年連続3位と手の届かなかった念願の全日本女王の座を手がに取った。長いラリーでも丁寧につきまは好機を手中に、尻上りに調子上げた。今大会は五輪レースには関係はないが、永原は「今後の大会につながる」と喜んだ。(北雅貴、金野和彦)

【女子】◇ダブルス決勝 (1日)

永原和可那・松本麻佑 2 212110 81521 1花 福島由紀・廣田彩花 1

◇ダブルス決勝

奥原希望・大塚由紀 2 2122 420 0 大塚由紀

◇ダブルス決勝

遠藤大由・渡辺大由 2 212111 81821 1 士 丸田啓健

◇ダブルス決勝

西本拳太・下谷ナミ 2 2121 1513 0 西本拳太

◇ダブルス決勝

東白志・尾崎 2 2121 1513 0 東白志

④女子ダブルスで優勝を飾り、優勝杯と金メダルを手に笑顔を見せる(左から)永原和可那、松本麻佑ペア ⑤【女子ダブルス・決勝】ファイナルゲームで、フクヒロを相手に果敢に攻める北都銀行の永原和可那(右)。左はペアの松本麻佑



豊成Aブロック制す

十勝卓球親睦大会 2位は清水A

【富田】十勝卓球親睦大会(水谷功会長)主催の第97回大会が11月24日、サンデーにおこなわれた。上位のAブロックは豊成が4戦全勝で優勝した。2位は清水A。管内の42チームが参加し、過去の成績などに応じて同レベルの実力に分けた8ブロックごとに団体戦を繰り返した。

親睦大会は08、06年から誰にも気軽に参加できる大会として春、夏、秋の年3回開かれている。

(勝敗回数順)順位は大会規定による。

▽Aブロック①豊成4勝
▽清水A2勝2敗②豊成4勝
▽Bブロック①豊成4勝
▽清水A2勝2敗②豊成4勝
▽Cブロック①豊成4勝
▽清水A2勝2敗②豊成4勝
▽Dブロック①豊成4勝
▽清水A2勝2敗②豊成4勝
▽Eブロック①豊成4勝
▽清水A2勝2敗②豊成4勝
▽Fブロック①豊成4勝
▽清水A2勝2敗②豊成4勝
▽Gブロック①豊成4勝
▽清水A2勝2敗②豊成4勝
▽Hブロック①豊成4勝
▽清水A2勝2敗②豊成4勝

ミニバレーの第13回クイーンズ北斗病院杯

催社会医療法人北斗共進会が11月14日、帯広の森体育館で開かれた。オーバー240の部(4選手)の年齢合計24歳以上は12チームが出場。予選リーグ上位6チームによるクイーンズリーグを「天晴」(渡邊真理子、野村裕子、川原優子、山田静子、大林直美)が、下位6チームによるエリザベス2世リーグを「つばき」(本田他志子、佐藤千穂、久保公恵、藤井澄子)が制した。

8チーム出場のアンダー240の部(同2000〜2400部)は「クイーンズ」が優勝した。

アンダー140の部優勝のクイーンズ

エリザベス2世優勝のシャボン玉

アンダー140の部優勝のクイーンズ

エリザベス2世優勝のシャボン玉

天晴 オーバー240の部 全勝V

勝ちたい気持ちで

坂本華苗、齋藤乃乃、佐藤厚子がそれぞれ優勝した。(長尾悦郎通信員)

オーバー240の部クイーンズリーグ優勝「天晴」の渡邊真理子優勝の話。毎回メンバースと楽しませてくれるから「勝ちたい」という気持ちを大切に、試合をしていきたい。

神祉幟幕 24-2323

豊成Aブロック制す

十勝卓球親睦大会 2位は清水A

【富田】十勝卓球親睦大会(水谷功会長)主催の第97回大会が11月24日、サンデーにおこなわれた。上位のAブロックは豊成が4戦全勝で優勝した。2位は清水A。管内の42チームが参加し、過去の成績などに応じて同レベルの実力に分けた8ブロックごとに団体戦を繰り返した。

親睦大会は08、06年から誰にも気軽に参加できる大会として春、夏、秋の年3回開かれている。

(勝敗回数順)順位は大会規定による。

▽Aブロック①豊成4勝
▽清水A2勝2敗②豊成4勝
▽Bブロック①豊成4勝
▽清水A2勝2敗②豊成4勝
▽Cブロック①豊成4勝
▽清水A2勝2敗②豊成4勝
▽Dブロック①豊成4勝
▽清水A2勝2敗②豊成4勝
▽Eブロック①豊成4勝
▽清水A2勝2敗②豊成4勝
▽Fブロック①豊成4勝
▽清水A2勝2敗②豊成4勝
▽Gブロック①豊成4勝
▽清水A2勝2敗②豊成4勝
▽Hブロック①豊成4勝
▽清水A2勝2敗②豊成4勝

豊成Aブロック制す

十勝卓球親睦大会 2位は清水A

【富田】十勝卓球親睦大会(水谷功会長)主催の第97回大会が11月24日、サンデーにおこなわれた。上位のAブロックは豊成が4戦全勝で優勝した。2位は清水A。管内の42チームが参加し、過去の成績などに応じて同レベルの実力に分けた8ブロックごとに団体戦を繰り返した。

親睦大会は08、06年から誰にも気軽に参加できる大会として春、夏、秋の年3回開かれている。

(勝敗回数順)順位は大会規定による。

▽Aブロック①豊成4勝
▽清水A2勝2敗②豊成4勝
▽Bブロック①豊成4勝
▽清水A2勝2敗②豊成4勝
▽Cブロック①豊成4勝
▽清水A2勝2敗②豊成4勝
▽Dブロック①豊成4勝
▽清水A2勝2敗②豊成4勝
▽Eブロック①豊成4勝
▽清水A2勝2敗②豊成4勝
▽Fブロック①豊成4勝
▽清水A2勝2敗②豊成4勝
▽Gブロック①豊成4勝
▽清水A2勝2敗②豊成4勝
▽Hブロック①豊成4勝
▽清水A2勝2敗②豊成4勝

かちまいスポーツ

記録の通報は kachimai.mobi

写真がほしい 01200259410

Eメール sports@kachimai.co.jp

ファックス 01155252700